

令和7年度
特別の教育課程の実施状況及び評価等について

守谷市立守谷小学校

1 特別の教育課程の内容

(1) 特別の教育課程を編成・実施する学校

守谷市立守谷小学校

(2) 特別の教育課程の概要

守谷市保幼小中高一貫教育のスローガン「世界に輝く人づくり」を目指し、急速に進展するグローバル化に対応することができる人材を育成するため、小学校1年生～2年生において、生活科の35時間分（1年生は34時間分）を設定する。「英語活動」においては、守谷市独自に配置している外国語指導助手（ALT）との交流の機会を多く設け、体験的な活動を通して外国語や異文化を理解し、自他の文化や価値を尊重することができるグローバルな視野や態度の素地を育む学習を行う。

(3) 学校又は地域の特色を生かした特別の教育課程を編成して教育を実施する
必要性

守谷市では、保幼小中高一貫教育「きらめきプロジェクト」を推進し、就学前の保育所等でも、英語を用いた遊びなどを積極的に取り入れたり、外国人講師との英語での交流機会を設けたりしている。この保幼小中高一貫教育としての継続性から、就学前の学びを小学校入学後においても継続する必要性がある。

また、外国語教育に関する意識調査からも、外国語に係る学習への興味・関心が高い児童の割合が高く（89%）、将来は国際社会で活躍することを希望する児童生徒も多い。保護者からも本市の外国語教育に係る取組に対して高い支持を得ており、特別の教育課程を編成する必要がある。

(4) 特例の適用開始日

平成23年4月

平成30年4月 変更

平成31年4月 変更

令和2年4月 変更

令和6年4月 継続

令和7年4月 継続

(5) 取組の期間

令和9年3月31日まで

2 特別の教育課程の編成・実施計画に基づく実施状況

- 計画通り実施できている
- ・ 一部、計画通り実施できていない
- ・ ほとんど計画通り実施できていない

3 特別の教育課程に基づく教育の実施状況に関する自己評価結果

(1) 第1学年児童による評価

- ① 英語活動の時間は、楽しいですか。

	割合 (%)
とても楽しい	78.0%
楽しい	21.0%
あまり楽しくない	1.0%
楽しくない	0%

② ALT の先生といっしょの活動は楽しいですか。

	割合 (%)
とても楽しい	81.0%
楽しい	18.0%
あまり楽しくない	1.0%
楽しくない	0%

③ 英語をもっと話せるようになりたいですか。

	割合 (%)
とても話せるようになりたい	74.0%
話せるようになりたい	18.0%
あまり話せるようになりたくない	2.0%
話せるようになりたくない	0%

④ 外国のことをもっと知りたいと思いませんか。

	割合 (%)
とても知りたい	66.0%
知りたい	28.0%
あまり知りたくない	1.0%
知りたくない	0%

(2) 第2学年児童による評価

① 英語活動の時間は、楽しいですか。

	割合 (%)
とても楽しい	48.8%
楽しい	34.7%
あまり楽しくない	12.4%
楽しくない	4.1%

② ALT の先生といっしょの活動は楽しいですか。

	割合 (%)
とても楽しい	55.4%
楽しい	31.4%
あまり楽しくない	9.1%
楽しくない	4.1%

③ 英語をもっと話せるようになりたいですか。

	割合 (%)
とても話せるようになりたい	57.0%
話せるようになりたい	27.3%
あまり話せるようになりたくない	9.1%
話せるようになりたくない	6.6%

④ 外国のことをもっと知りたいと思いませんか。

	割合 (%)
とても知りたい	45.5%
知りたい	33.1%
あまり知りたくない	10.7%
知りたくない	10.7%

(3) 保護者による評価

① 小学校1年生から外国語教育に取り組んでいることについて、どのようにお考えですか。

	割合 (%)
とてもよい	90.2%
よい	9.8%
あまりよくない	0%
よくない	0%

② お子様は、外国語教育の時間を楽しみにしていますか。

	割合 (%)
とても楽しみにしている	30.4%
楽しみにしている	51.4%
あまり楽しみにしていない	16.9%
楽しみにしていない	1.4%

③ 小学校1年生から外国語教育に取り組んでいることで、お子様が英語を繰り返して学ぶ機会が増えていると思いませんか。

	割合 (%)
とても増えていると思う	19.6%
増えていると思う	63.5%
あまり増えていると思わない	14.5%
思わない	2.4%

- ④ 小学校1年生から外国語教育に取り組むことで、お子様に力が身に付いているとお感じになることはどんなことですか。（複数回答可）

	割合 (%)
積極的に楽しくコミュニケーションを図ろうとする態度	27.9%
(英語を) 聞く力	33%
(英語を) 話す力	19.1%
(英語を) 読む力	8.7%
(英語を) 書く力	4.2%
力が身に付いていると思わない	6.9%

- ⑤ 今後の小学校の外国語教育について、どのようなことを希望しますか。ご意見等があれば、お聞かせください。
- ・英語の先生を増やして欲しい。
 - ・習熟度学習にして欲しい。
 - ・歌で楽しく学んでいる。今後も続けて欲しい。
 - ・他教科も英語でやって欲しい。
 - ・国際感覚を体験できるイベントや行事をやって欲しい。
 - ・フォニックスソングを入れて欲しい。
 - ・ライオンズ杯の取り組みが素晴らしい。
 - ・外国の子供たちとオンラインで繋がって欲しい。
 - ・英語の授業を見たい。

(4) 学校関係者（教職員）による評価

- ① 小学校1年生から外国語教育に取り組んでいることについて、どのようにお考えですか。

	割合 (%)
とてもよい	68.8%
よい	31.3%
あまりよくない	0%
よくない	0%

- ② 児童は、外国語教育の時間を楽しみにしていますか。

	割合 (%)
とても楽しみにしている	68.8%
楽しみにしている	25.0%
あまり楽しみにしていない	6.3%
楽しみにしていない	0%

- ③ 小学校1年生から外国語教育に取り組んでいることで、児童が英語を繰り返し学ぶ機会が増えていると思いますか。

	割合 (%)
とても増えていると思う	43.8%
増えていると思う	50.0%
あまり増えていると思わない	6.3%
思わない	0%

- ④ 小学校1年生から外国語教育に取り組むことで、児童が身に付いているとお感じになることはどんなことですか。（複数回答可）

	割合 (%)
積極的に楽しくコミュニケーションを図ろうとする態度	39.4%
(英語を) 聞く力	30.3%
(英語を) 話す力	6.1%
(英語を) 読む力	24.2%
(英語を) 書く力	0%
力が身に付いていると思わない	0%

- ⑤ 今後の小学校の外国語教育について、どのようなことを希望しますか。

特になし

4 実施の成果と今後の課題

- (1) 特別の教育課程の編成・実施により目指す学校の教育目標達成の成果

本教育課程の編成により、児童は「楽しさ」を原動力とした主体的な学習態度を身につけている。特に教職員と保護者の双方が「1年生からの継続的な学び」による機会増を認めており、学校全体として「グローバルな視点を持つ児童の育成」という目標に向けて、成果を上げている。

- (2) 教育課程全体としてバランスのとれた教育活動が実施され、学校教育法に示す学校教育の目標達成の成果

本校の教育課程は、英語という特定の教科指導に偏ることなく、それを「コミュニケーションの基盤づくり」や「学習意欲の点火剤」として機能させることで、学校教育法が求める「心身の調和のとれた発達」を促進している。特に、保護者・教職員が一致して「子供の変化（態度や意欲）」を肯定的に捉えている点は、教育課程全体が健全かつバランス良く運営されている成果といえる。

- (3) 今後の課題

今後は、現在の「高い支持」と「良好な雰囲気」を維持しつつ、「中・高学年への系統的な接続」を意識したカリキュラムの精査が重要である。特に、児童が「英語を使って何ができるようになったか」を実感できるフィードバックを充実させることが、次なるステップと鍵となると考え

る。

5 授業の様子



1年生の様子



6年生の様子